

# 童

三年 12  
 筆順 産 童 童  
 オン ドウ  
 3 わらべ

成り立ち



人のすむ「村里」のいみの「里(2年24)」と、人が立っている形をあらわし、「立つ」といういみの「立」とが組み合わされた形の字です。

「村里で立ってあそんでいる「子ども」をあらわした字です。むかしは、「子ども」のことを「わらべ」といいましたので、古い方の文では「わらべ」と読みます。

【例】童歌↓「童は見たり、野中のばら」。

「この字は「辛」と「重」との合字で、今の字形では辛の下半分、重の上半分が省略されている。罪人に施す入れ墨の注射針の象形の辛と、重との会意・形声字で、「重い物を運ぶ罪人」「しもべ」を表した。転じて一人前ではない「わらべ」の意味になった。」

使い方

▽むかしから子どもたちに歌われてきた歌を「童歌」といいます。子どもたちのために新しく作られた歌は「童謡」といつてくべつしますが、ことばのいみはどちらも「子どもの歌」ということです。

▽児童館で本を読みましたが、頭がつかれたので、児童公園に行つてあそびました。

熟語例

▽童歌(子どもの歌。とくにむかしから歌われつづけてきた歌のことをいいます。)

▽童謡(子どもの歌。詩人が作った詩に作曲した子どもたちの歌。童歌はだれが作ったかわからないのたにし、童謡は作詩した人も作曲した人もはっきりしていません。)

▽児童(小学生のこと。児も童も「子ども」といういみの字ですから、「子ども」といういみですが、中学生は「生徒」といつてくべつしています。「学童」)

▽童話(子どものためのお話。イソップ童話、アンデルセン童話、グリム童話などがあります。「おとぎ話」ともいいます。)

# 農

三年 13  
 筆順 口 曲 曲 艸 農  
 オン ノウ  
 3

成り立ち



田の形をあらわした「畹」がへんかした「曲」と、朝といういみの「晨」をあらわした「辰」とを組み合わせて作った字で、「朝はやくから田んぼに出てはたらく人」または、「朝早くから田んぼでする「しごと」をあらわしたものです。「農作業」、または、「農作業をする人」のことです。

「辰は、二枚貝が足を出して歩いてる形を象つた字で、足が唇に似ているので、唇の字が作られた。しかし、辰は十二支の五番目に当てられ、一般に「たつ」と読まれ、時刻では午前八時、方角では東南東のいみに使われてきた。農は、午前八時ごろ、日が東南東の方角にあることを表した字である。」

使い方

▽今では、むかしふうの農家は少なくなりました。むかしの農家には、雨の日に農作業をする広い土間や、体をあたためたりなべをかけておいたりするいろりがあったものです。

▽工業がはつたつした今でも、農業はやはり大せつです。農家の人が、お米や野菜をつくつてくれなければ、みんなうえてしてしまいます。むかしから「米一つぶは、あせ一つぶ」というように、お米を作るのは大へんなしごとでした。今では農作業もきかいをつけてできることが多くなりましたが、それでも、けつして楽なしごとではありません。

熟語例

▽農家(農作物をつくる仕事をする家)

▽農作業(米や麦などのこくもつや、大根やほうれん草などの野菜などをつくつたり、牛やぶたやにわとりなどをかつたりするしごとのことです。)

▽農具(農作業をする道具。すきやくわなどのことをさします。)